

## 緑の担い手

# 2年目の「緑の雇用」 研修を終えて

常陸大宮市森林組合

栗久保 康 三

私は半導体工場でオペレータをしていましたが、退職後、前職とは全く違う業種である「林業」に就業しようと思いい、地元の常陸大宮市森林組合に再就職することとしました。

友人からの誘いでこの業界に飛び込んだのですが、全くの素人に務まるか不安でした。しかし、就業後に参加した「緑の雇用」の集合研修やOJT研修で林業の基礎をしっかりと学ぶことができ、いつの間にか不安も解消していきました。

私は組合で伐採・造材・搬出を行う生産班に配属されましたが、工場での作業と違い、山での仕事はいつも同じ条件下で仕事が進められる訳ではありません。作業の難しさを実感しながらも、OJTで伐倒や造材の基礎を指導員の方に丁寧に教えて頂いたことで、自信を持って作業を行えるようになってきました。

また、研修では、業務では担当していない地拵えや植栽、下刈などの知識も得られるなど、とても勉強になりますし、他社に就職した人達と交流を深めることもできることから、楽しく受講しています。

ただ、私も50歳を超え、体力も若い頃から比べると落ちてきており、その点に不安も感じますが、自分より年上の先輩方が元気で働いている姿を見ていると元気づけられます。

研修も残り1年となりましたが、しっかりと基礎能力を身につけ、林業機械の操作やメンテナンスの技術を身につけたいと思います。



仲間と一緒に（中央が栗久保康三氏）